

令和 4 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	34	学校名	茨城県立那珂高等学校				課程	全日制		学校長名	庄司 一裕					
教頭名	金子 英樹								事務長名	高橋 芳子						
教職員数	教諭	31	養護教諭	1	常勤講師	0	非常勤講師	4	実習講師	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	46
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数				
	普通科	68	92	83	74	67	84	0	0	218	250	12				

2 目指す学校像

- ・ 基本的生活習慣を確立し、自主性・自立性を育みながら、希望する進路を実現する学校（誠実）
- ・ 国際理解教育を推進し、異文化を理解しグローバルな視点に立つ人材を育成し、地域社会に貢献する学校（進取）
- ・ 互いに尊重し合い切磋琢磨しながら、よりよく生きるための資質・能力を育てる学校（敬愛）

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立により、生徒の自主性・自立性を育みながら、望ましい職業観を養うことで希望する進路を実現する。 ・ 国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成するとともに、地元の歴史・文化を重んじ地域社会と連携・協力する態度を養う。 ・ 互いに切磋琢磨するとともに思いやりの心を持ち他者と協働することにより、よりよく生きるための資質・能力を育てる。
---------------------------------------	---

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「何のために学ぶのか」を意識させることで、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。 ・生徒が自主的に活動し、いきいきと学校生活を送ることができる活力ある多彩な特別活動を実践する。 ・外国語授業や海外人材との交流をとおして国際理解教育を推進し、「異文化を正しく理解しグローバルな視点に立つ人材」を育成する。 ・家庭や地域社会、学校間で連携、協働するなど、学校外の資源を活用した学校教育活動を充実させる。
<p>入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や現代社会の諸問題に関心を持ち、積極的に探究しようという意欲のある生徒 ・自分の進路実現を目指し、日々努力することができる生徒 ・社会の規範を守って日常生活を送ることができ、学校行事や部活動に積極的に取り組む意欲のある生徒

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	家庭学習時間が少ない。各学年、各教科で、家庭学習の課題を工夫し指導するなど細やかに手を入れている。	学習意欲の高揚、学力向上・定着、家庭学習の習慣化等の早期対応
進路指導	主な進路結果は国公立大学合格現役2名、過年度1名(山形大学医学部医学科)。公務員合格13名(うち実就業者11名(過去最多))。	高い進路目標へ向けた達成方法の確立と、多様な希望進路に対する生徒・保護者への有益な情報の提供。
生徒指導	全体的に規範意識が高く、きちんとした制服の着こなしが定着しつつあるが、一部の生徒に着こなしが乱れるところがあった。情報モラルの遵守等で指導の必要な生徒が若干見られた。	基本的生活習慣の確立、品格のある制服の着こなしをする意味の理解と徹底。
特別活動	新型コロナウイルス感染症の影響で縮小されてしまったが、校内	新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底、でき

	文化祭等の学校行事に積極的に取り組む姿勢が見られた。	る限りの学校行事を実施
国際理解教育	新型コロナウイルス感染症の影響で、本校独自のオーストラリア短期留学や国際交流協会を通してのタイやアメリカの学校との交流が実施できない状況が続いている。	コロナ状況下で、様々なツールを用いての交流のあり方について検討し、可能な限り実施。
働き方改革	一人あたりの業務に偏りが生じている。また、依然として、勤務時間が長時間に渡る傾向にある。	一人一人の勤務時間の正確な把握、業務の平準化のための校務分掌の見直し、勤務時間を意識した一人一人の業務の見直しの実施。

5 中期的目標

1 「何のために学ぶのか」という学ぶ意義を共有し、授業改善をとおして、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、学習評価の充実を図る。
2 カリキュラムマネジメントの充実を図り、自らの意志で進路を主体的に選択する資質・能力を育成する。
3 生徒の自主的な活動を充実させ、生徒がいきいきとした学校生活を送れるように、特別活動の充実を図る。
4 海外派遣や海外からの訪問団の受入等をとおして、異文化を正しく理解しグローバルな視点を持った人材育成と国際理解教育を推進する。
5 家庭や地域社会、学校間で連携、協働するなど、学校外の資源を活用し、教育課程及びその他の学校教育活動の充実を図る。
6 全体の校務の整理を図りながら、校務分掌の見直しや職員一人一人の業務の効率化を通して働き方改革を推進する。

6 本年度の重点目標

重点項目		重点目標
学	生徒の主体的な学びと確かな	① 授業時間の確保とR P D C Aサイクルによる授業や学習指導法の改善

習 指 導	学力の定着を目指す授業改善・ 学習評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ② 評価方法の工夫・改善 ③ 家庭学習の習慣化と時間増のため、学習方法の指導の工夫 ④ 主体的な学びにつながる課外授業の充実と積極的参加促進 ⑤ 学校図書館・六葉館の積極的活用
進 路 指 導	高い目標へ向けた主体的な進路 選択と教師の支援を含めた達成	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 進路意識の高揚を図るための発達段階に応じた個別的な進路指導 ⑦ 進路情報等の収集・分析による計画的な進路指導 ⑧ 個別面談の質的・量的充実 ⑨ 生徒の探究活動と関連した進路指導
生 徒 指 導	主体的で自律的な生活態度の 確立	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 基本的な生活習慣の定着と規範意識の涵養 ⑪ 進路指導と連携した生活指導の推進 ⑫ 教育相談による心のケアの充実 ⑬ 家庭や地域社会及び関係機関との密接な連携による問題解決
特 別 活 動	主体的で活力ある学校生活の 実現	<ul style="list-style-type: none"> ⑭ 感染症予防対策の徹底と、学校行事やホームルーム活動等への積極的な参加の促進 ⑮ 生徒会活動や各種委員会活動の活性化 ⑯ 部活動等への積極的な参加の促進 ⑰ 主体的に探究活動に向かう姿勢の育成

		⑱ キャリア・パスポートを適切に活用し、学びの蓄積と振り返りによる自己のキャリア教育の促進
国際理解教育	日本や外国の文化に対する関心の深化と、他者を尊重する態度の育成	⑲ 海外短期 留学や異文化理解活動の円滑な実施 ⑳ 多様な交流事業等を通して国際理解教育の促進とグローバルな視点を持つ人材の育成 ㉑ コロナ禍の中での国際理解教育の推進に向けた取組の工夫
働き方改革	働き方改革の推進	㉒ 職員全体による勤務時間を意識した働き方の推進 ㉓ 業務の整理と効率化